



2012年7月31日

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

毎日新聞に当社の取り組みが掲載されました

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢嶋弘毅)は、インターネット広告の発注から制作、入稿までの管理を効率化するため、株式会社クリエイターズマッチと連携した広告プランニングシステムの提供を始めました。

広告制作現場での課題に対して、当社の「AD-Visor® NEXT」で管理されている広告メニューデータを、株式会社クリエイターズマッチのウェブ広告制作管理システム「ADFlow™」へ自動データ連携することにより、広告クリエイティブの制作途中で媒体社の原稿規定を逐一参照することなく、レギュレーションチェック(原稿規定との自動付き合わせ)を可能とする機能を実現し、効率的な広告制作の支援を行います。

本サービスは7月17日より提供開始し、順次サービスの拡充、ユーザビリティの向上を図ってまいります。

上記の取り組みが、以下の通り本日の毎日新聞に掲載されました。

【掲載】

・2012年7月31日付 毎日新聞

『ネット広告制作効率化～DACなど 発注、入稿を支援』

※詳細は、当社のコーポレートサイトに掲載しておりますリリースをご参照ください。

・AD-Visor®NEXT と ADFlow™が連携

～広告メニュー情報管理とレギュレーションチェックを手早く簡単に

http://www.dac.co.jp/Contents/pdf/press/20120717_adflow.pdf

以 上